

宇都宮市立横川中学校 第2学年生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「学習して身につけたことは、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」の肯定的解答が、92.5%で、県平均より6.7ポイント上回っている。また、「授業を集中して受けている」の肯定的解答が91.2%、「家で、学校の宿題をしている」の肯定的解答が96.9%、「授業を集中して受けている」の肯定的解答が91.2%といずれも県平均を上回っている。このことから、生徒は将来を見据え、学習に主体的に取り組んでいると考えられる。

○「人と話すことは楽しい」の肯定的解答は91.9%、「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」の肯定的解答は91.9%、「授業では、クラスの友だちとの間で話し合う活動をよく行っている」の肯定的解答が91.3%といずれも県平均を上回っている。今後も授業において言語活動の充実を図り、コミュニケーション力の向上や集団における自己有用感を育てていきたい。

○学校の授業時間以外に平日全く勉強をしていないと回答している割合は0%で土日を含めても0.6%であり、家庭学習の習慣は身についていると考えられる。また、携帯電話やスマートフォンを持っていないと回答している割合は36.0%であり、市および県の平均を上回っている。一方で、ゲームをする時間も全くないを含め、2時間より少ないと回答している割合は76.4%であり、県平均63.9%、市平均65.3%を大きく上回っている。

●見てはいけないサイトにつながらないようにしていますかという質問で、「いいえ」と回答している割合が13.0%と高く、「分からない」と合わせると53.4%とネットへの警戒の甘さが感じられる。また、平日の睡眠時間が6時間より少ないと回答している割合が、9.9%と県市の平均を上回っている。学習下位層であるD層で、平日ゲームを4時間以上していると回答している割合が20.0%ととても高く、その層の睡眠時間を見ると6時間より少ないと回答している割合が17.5%と高く、ゲームと睡眠時間の関係が顕著である。